

# Murayama Medical Center



独立行政法人 国立病院機構

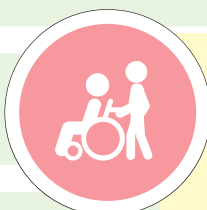
村山医療センター

# Welcome to Murayama Medical Center!

第一歩を私たちと一緒に始めませんか？  
私たちの看護を紹介します。



やりたい  
看護が  
ここには  
あります！



## 「骨・運動器疾患看護」 「リハビリテーション看護」を 極めます

先進医療を推進する周術期看護や、最新のエビデンスに基づいた脳卒中リハビリテーション看護を提供する中で、実践的スキルを養うことができます。その経験をもとに、運動器看護学会、回復期リハビリテーション病棟協会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会などの学会認定士を取得して、さらに活躍の場が広がります。

病棟  
紹介

### 第5病棟(一般整形外科)



腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症、側弯症など脊椎疾患を専門とする病棟です。術前の脊椎造影検査入院から手術入院まで一貫して関わりをもつことが多く、術後はコルセットの着脱方法や、装着中の注意点など退院後の生活を考えた指導を行います。カンファレンスを通して、医師との連携を密に図り、患者さんの病態の理解を深め、看護の質の向上に努めています。

病棟  
紹介

### HCU



術後の集中管理を必要とする患者さんを受け入れ、院内の急変対応では中心となって活動できるよう、自己研鑽に努める向上心があるスタッフが多くいます。一人の患者さんとかかわる時間は少ないですが、患者さんの病状に合わせた安心・安全な看護を提供することを目指しています。



病棟  
紹介

### 第4病棟(一般整形外科)

脊椎疾患、膝関節疾患・股関節疾患の手術を目的とした患者さんが多い病棟です。人工関節置換術を実施した患者は、脱臼に注意が必要です。そのため、術後の日常生活援助・禁忌肢位の指導等を行っています。また、退院後の生活に不安のある方は、リハビリテーションを継続し、在宅への環境調整を行えるように地域包括ケア病棟と連携しています。



病棟  
紹介

### 第6病棟(混合病棟)

整形外科と外科・内科の混合病棟です。整形外科では頸椎・腰椎疾患、外科では癌の手術や化学療法、上下部内視鏡、嚥下障害のある患者さんの胃ろう増設などが多い病棟です。急性期から終末期まで様々な病態の患者さんがご入院されます。そのため、病棟では退院後をイメージした指導やリハビリテーションを心がけ、ミニ勉強会や多職種カンファレンス、OJTにも力を入れています。

病棟  
紹介

### 手術室



年間2000件以上の手術を行っています。術前・術後訪問を通じて、不安を抱えながら手術に臨む患者さんの思いに寄り添い、個別性に応じた安全・安楽な看護が提供できるように他職種と情報共有し手術室看護を実践しています。また当手術室ではプリセプター制度を採用し、手術室クリニカルラダーに沿って指導を行い、安心して仕事に取り組める環境を提供しています。

看護部長  
メッセージ

看護師募集パンフレットを手にとっていただきありがとうございます。村山医療センターは、一般病院では対応が困難な骨・運動器疾患及び脊髄損傷に関する高度な医療、並びに回復期、慢性期にある患者さんの社会復帰を目指したりリハビリテーションまでの医療を提供しています。当院に来られる患者さんは、急性期における疾患の治療、回復のみならず、

生活の質の向上や、社会復帰を目指しています。看護師はそのすべての過程で関わり、患者さんに寄り添い、支えていくことが使命と考えます。村山医療センターは、確かな知識と高度な技術を身につけた、心優しい看護師を育成します。教育制度、人間関係等、職場環境が整っている当院で、あなたも一緒にそのような看護師を目指しませんか。

看護部長 杉山 学子





## チーム医療による 「地域包括ケア」を実践します

当センターには、地域包括ケア病棟があります。急性期治療を経過した患者さんとその家族が、不安なく自宅へ帰ることができるように看護師が中心となって、医師、理学療法士・作業療法士・言語療法士・地域のケアマネージャーなどと連携を図り、在宅復帰サポートを行います。スムーズで安心な退院調整を行う看護の力が身につきます。



病棟紹介

### 第2病棟 (骨運動器疾患病棟)

主に頸髄損傷者、脊髄損傷者が多く、看護師、医師、理学・作業療法士、退院調整看護師、MSW等の多職種で連携をとります。また、受け持ち看護師が、患者と一緒に退院に向けて長期間かかります。そのため、お互いの信頼関係が深まり、患者さんが退院する時には喜びとやりがいを高く感じられます。

病棟紹介

### 第1病棟 (回復期リハビリテーション病棟)

脳血管疾患や大腿骨骨折、廃用性症候群がある患者さんに対して集中的なリハビリテーションを実施しています。生活動作介助や精神的ケアを行いながらADL能力の改善を図ります。多くの専門職種でチームを組みカンファレンスを行い、それぞれが役割を分担し協力し合っ、心身ともに回復した状態でご自宅や社会へ戻れるように患者さんを支援しています。



病棟紹介

### 第3病棟 (地域包括ケア病棟)

一般病棟で治療した患者さんの中には、退院後の生活に不安がある等の理由で、在宅復帰支援を必要とする方がいます。こうした方々が在宅療養までの間、医療や支援を受ける事が出来る病棟が地域包括ケア病棟です。また、すでに在宅療養を行っている患者さんの緊急入院の受け入れをする病棟としても機能しています。



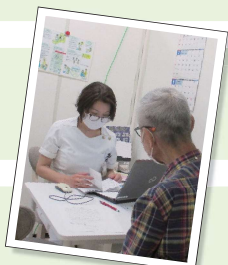
## あなたの個性を尊重して 豊かな人間性を育みます

個々の能力に合わせて、段階的に専門的な知識や看護実践能力を身につけていける教育プログラムがあり、プリセプターや教育担当者を中心として丁寧に指導・サポートしています。働きやすい環境で、患者さんに関わり、あたたかく優しい心をはぐくみ、看護師として成長することが出来ます。

病棟紹介

### 外来

外来部門は、整形外科・外科・内科・リハビリ科・歯科・専門外来(側弯症外来・骨粗鬆症外来・リュウマチ外来)があります。骨粗鬆症外来では、骨粗鬆症マネージャーが治療のサポートや予防・指導などを行い、質の高い看護を提供しています。入院支援室では、手術前のオリエンテーションのみでなく、手術に対する不安の軽減や退院後の生活を見据えた関わりを行い、病棟と連携を図り、患者さんが安心して入院から退院まで過ごせるよう支援しています。「手術」を受ける患者さんには、誤嚥性肺炎・肺炎の予防など術後の合併症予防のため歯科受診を勧めています。



病棟紹介

### 地域医療連携室

地域医療連携室では前方連携・後方連携の推進・広報活動・医療相談・セカンドオピニオン等の機能を充実させ、医療機関・介護施設を始め、行政や福祉に係る多くの施設をつなぐ役割を担っている。院内における横断的部署として、多職種とチームを組み、患者さんと地域の暮らしをつなぐ役割を担っています。



- **理念** 患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。
- **看護部理念** 私たちは国立病院機構 村山医療センターの理念に則り、専門性を発揮した看護を提供します。

- **看護部基本方針**
  - 私たちは、患者さんの信条、人格、生活、権利を尊重し、意志決定への支援および自立への支援を行います。
  - 私たちは、患者さんに満足される安全で安心な看護を提供します。
  - 私たちは、豊かな人間性と高度な専門的知識・技術をもち的確に判断し実践できる看護職員を育成します。
  - 私たちは、チーム医療の一員として他部門と協働し病院運営に積極的に参画します。
  - 私たちは、看護活動をとおりて地域に貢献します。

- **病院概要**
  - 開設年月 1941(昭和16)年10月
  - 病床数 303床
  - 職員数 347名(R5年4月)
  - 診療科目 整形外科・外科・内科・リハビリテーション科・歯科
  - 専門外来 側弯症外来・骨粗鬆症外来・リュウマチ外来
  - その他 東京都地域リハビリテーション支援センター、東京都高次脳機能障害支援普及事業所

- **看護部概要**
  - 看護職員数 184名(男性看護師30名)
  - 看護方式 固定チームナーシング
  - 看護配置 10:1(一般病棟)
  - 勤務体制 二交替

# 新人看護師1年間のあゆみ

就職しても  
学習は大切!

## 配属部署の教育

夜勤導入シート  
日勤マンツーマン指導



4月

## 集合教育

- 新採用者職員研修
- 看護実践講座  
吸引・採血  
輸液ポンプ  
内服薬について

5月

- 看護実践講座  
急変時の対応  
(基礎編)

6月

- 3ヶ月の振り返り
- 記録研修

7月

- 女性の膀胱留置  
カテーテル研修

8月

苦手な実技を  
しっかり演習!

9月

- 記録研修  
(重症度、医療・看護必要度)  
急変時対応

10月

- 倫理研修
- 多重課題



# 新人看護師の1日

日勤



第6病棟 2023年入職  
N, M



敷地内に寮がある!  
通勤時間5分以内

8:30 日勤業務開始



まずは情報収集!



10:00 点滴の準備

夜勤



第1病棟 2023年入職  
F, N



状況をしっかり  
把握します!

16:00 夜勤業務開始



19:00 配薬

技術チェックリスト12ヶ月

11月

- 記録研修 (看護記録の標準化)
- 静脈留置針

12月

1月

- 記録研修 (データベース)

2月

- 1年間のまとめ

3月



研修で日々の  
看護を振り  
返っています。



新人看護師は胸に  
ハッピークローバーを  
付けています。

## 新人看護師をサポート

### 看護教育担当師長

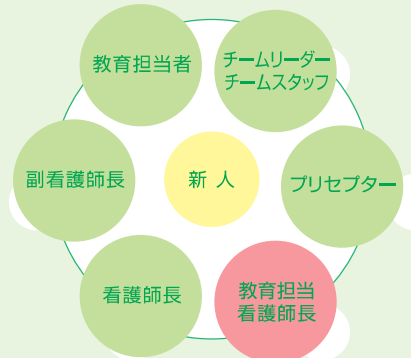
「みんなで新人を育てよう!」をモットーに、院内の教育の企画を考えています。新採用者皆さんは、オリエンテーションや、看護実践講座を受けてもらい、色々な看護技術を習得します。練習を繰り返し、所属部署で実践しています。



教育担当看護師 看護教育担当師長

### 教育担当看護師

病棟に所属せず、新人が職場環境に慣れるよう、良き相談相手として、また時には一緒にケアに入り、新人指導を行っています。各種研修の準備等も行います。



急変時の対応も  
バッチリ!

11:00 リハビリ送迎

あせらず、ゆっくり  
いきましょうネ!



14:00 カンファレンス

多職種で情報共有を  
行います。



困ったら  
先輩に相談!



17:15 日勤業務終了

お疲れ様でした!



15:30  
報告



20:00  
巡視・記録

おはようございます。  
歯磨きのお手伝いをします。

7:00  
モーニングケア



夜勤明けです、  
お疲れ様でした!



9:15 夜勤業務終了

# チーム医療

## 医療安全対策チーム

- ★看護職がケアの提供において、対象者の安全確保のための安全管理を行うことはその職務です。
- ★ケアの提供における安全とは、対象者の療養生活上さらされる危険を回避し、適切な医療の提供を行うことです。

## 感染防止対策チーム

院内感染防止対策委員会を中心に、院内の感染予防に取り組んでいます。現場における感染対策状況の確認・指導や教育・研修などの活動も行っています。

## 栄養サポートチーム(NST)

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など多くの職種がチームの一員として連携して、入院患者さんの最適な栄養療法を提供しています。チームで週1回該当患者さんを回診しています。

## 地域医療連携室

他の医療機関や福祉施設と連携を取りながら、患者さんとご家族のニーズに応え、経済的・心理的な問題にも一緒に向き合い、支えています。

## 褥瘡対策チーム

院内褥瘡発生の予防を目的に活動を行っています。定期的に勉強会を開催したり、他職種チームで週1回、褥瘡のある患者さんの回診を行っています



医療安全対策チーム

# キャリアラダー

国立病院機構の役割を果たすため、看護師として求められる能力を形成するためにACTyナースの各レベルI～Vに挑戦していきます。



基礎看護技術

基礎看護技術  
リアリティーショックへの  
対応・急変時の  
対応・多重課題

## レベル I

看護実践に  
必要な基本的能力を  
習得する。

メンバーシップ  
看護実践

## レベル II

- ① 根拠に基づいた看護を実践する
- ② 後輩とともに学習する。

# スペシャリスト

## 感染管理認定看護師 副看護師長 ● 佐々木 恭平



病院は患者さん、面会者、職員等多くの火焔が一堂に会する場所です。中には、感染症に対して抵抗力が弱い方もいます。

その中で、当院に関わるすべての人を感染から守るための活動を中心に行っています。

感染予防対策は、誰か一人がやれば良いことではありません。

そのため、多くの人を巻き込み、医療関連感染の低減という目標を共有・達成できるよう取り組んでいます。

## 皮膚・排泄ケア特定認定看護師 副看護師長 ● 小泉 亜理沙

当院には、脊椎疾患や頸椎・腰椎の安静のためにコルセットを使用するなど褥瘡のリスクの高い方が多くいらっしゃいます。

病棟や外来での褥瘡ケアに携わる中で、今ある

創(キズ)を改善することだけに注目せず、これから先の生活を見据えたケアの方法を病棟看護師と協力して提案しています。





リーダーシップ研修

コミュニケーション技法  
リーダーシップ・プリセプター

### レベルⅢ

- ①個別性を重視した看護を実践する。
- ②看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる。

臨床指導者  
指導的役割  
院内認定コース

### レベルⅣ

- ①後輩の学習を支援する。
- ②チームリーダーとしての役割行動がとれる。



院内認定コース



ブラッシュアップ研修

### レベルⅤ

専門性の発揮、  
管理・教育的役割モデル  
となり研究的に  
取り組む。

実習指導者講習会  
幹部看護師任用候補者選考

### 管理職

幹部看護師等管理研修  
副看護師長研修

### 認定看護師 専任看護師

特定認定看護師  
養成研修

## 糖尿病看護特定認定看護師としての活動紹介 ●佐藤 ひとみ

糖尿病患者さんがその人らしく生活できるように、各病期の身体的・心理的・社会的な側面をアセスメントして、多職種の架橋となりセルフケア支援を行っています。特化した技術の「血糖パターンマネジメント」では、セル

フモニタリングで得た血糖値を患者さんの生活や療養状況と照らし合わせて自己管理できるように支援します。更に、特定行為の「インスリン投与量の調整」を実施することで、低血糖や高血糖を回避し療養生活の質の向上を図ることができます。



## 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 ●平賀 歩



回復期リハビリテーション病棟を中心に活動しています。毎日の生活は、まず患者さんの病気の管理が基本となります。その上で、急性期から逸脱した患者さんの合併症の予防やリハビリテーションを実施しながら、日常生活の動作(食事・更衣

・排泄・入浴・移動など)を獲得できるようチームで支援しています。また、患者さんおよび家族の方に、病状が理解できるような説明や障害から見えにくい今後の症状などをイメージできるよう、さらには今後必要となる社会資源などの説明をしています。

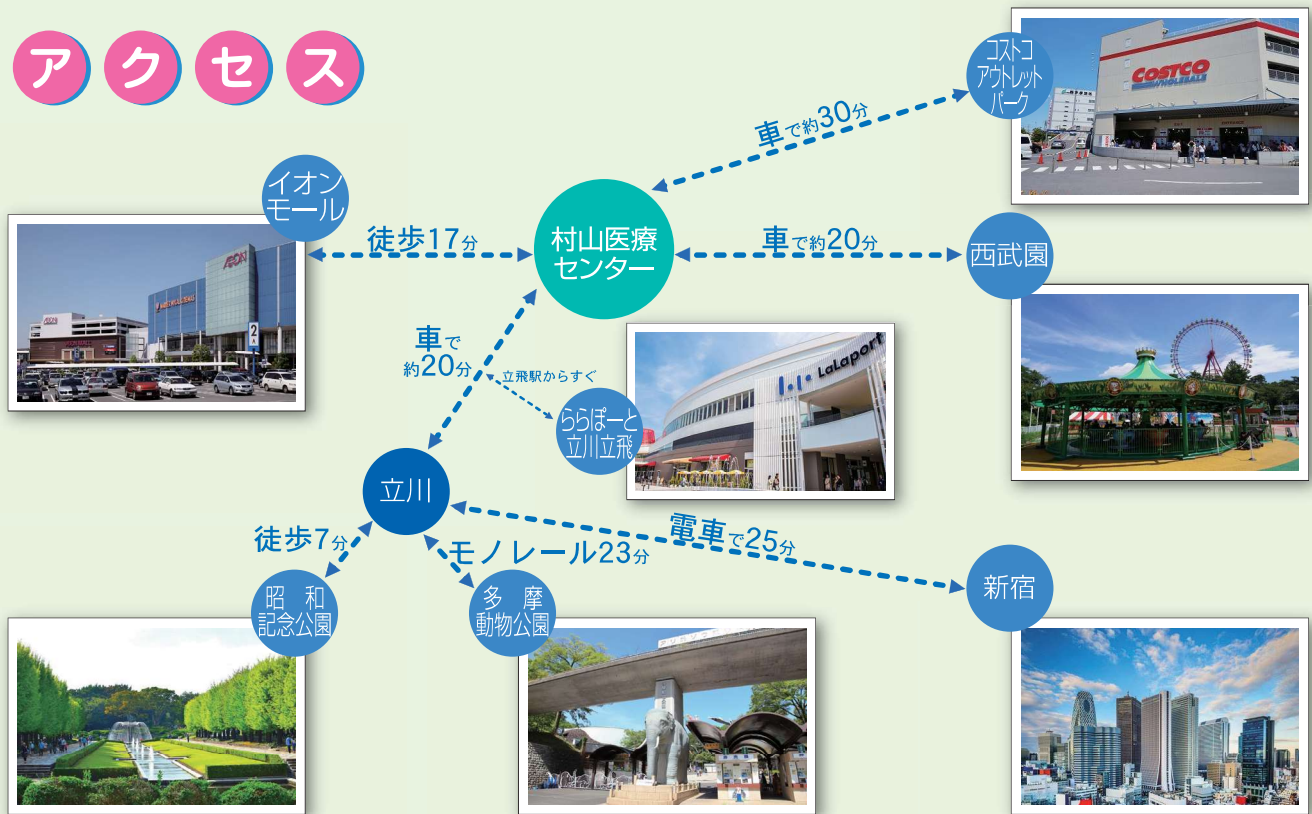
## 認知症看護認定看護師 第3病棟 ●滝野 佐知子

病「認知症＝記憶障害、何もできなくなる」という印象がまだ強い傾向にあります。しかし、認知症の背景疾患によって障害されることは異なります。また、認知症の方ときちんと向き合うと、その人が今もっている力や本当の姿が見えてきます。そのため、支援することで大切にしていること

は、認知症の方の生活史の理解を深め、その人のもてる力を見出す・活かすことです。また、認知症の方との関わり方を多職種で共有し、連携をしていくことで、その認知症の方が適切な医療を受けられるよう支援しています。



# アクセス



## Event

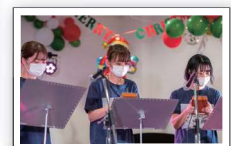
院内外で、さまざまな活動をしています。

### 音楽祭

「音楽に触れあうとき～糸が織りなす絆のように強く・暖かく～」をテーマに、入院患者さんに普段の療養生活で体験できない空間や雰囲気を感じることが出来るよう音楽祭を開催しました。会場の飾りつけはクリスマスをイメージして看護部でレイアウトを考え、看護師だけでなく、理学療法士、作業療法士、事務職員など多職種で連携し準備しました。入院患者さんからは温かい言葉をいただき、私達の音楽を楽しんでいただけたようです。

### 看護の日

村山医療センターで看護の日のイベントを開催しました。身長・体重・体脂肪測定や一番人気の骨密度測定。栄養師や医師、骨粗鬆症マネージャーによる相談など行い地域の方々との交流がはかれました。



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センター

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1

TEL.042-561-1221(代)

URL <http://www.murayama-hosp.jp>



詳しくは、QRコードかURLをご利用ください。



Instagramにて院内の様子など様々な情報を皆様にお伝えしています。